



石見屋呉服店には同店の女性たちの節句で飾られた4世代の雛人形が展示されました。写真は1代目(昭和初期)の御殿付き雛人形。



伊豫屋



おしゃれの店 えぐち



特設会場 (旧西山ふとん店)



伊万里まちなか一番館

古伊万里 通りの おひなさま

2月22日から3月22日まで、『第1回古伊万里通りのおひなさま』がありました。中心市街地ににぎわいを取り戻そうと、本町名店街の女性たちが中心となって開催したものです。5つの会場にはさまざまな種類の雛人形が飾られ、期間中、市内外から多くの人が訪れました。



人の動き

令和2年3月1日現在

●人口	54,497人	(- 72)
男	26,360人	(- 31)
女	28,137人	(- 41)
●世帯	23,455世帯	(- 16)
	()	は前月比

この冊子は、1部当たり約41円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

- 発行日/令和2年4月1日
- 発行編集/伊万里市情報政策課シティプロモーション推進室 ☎(0955)23-4313(直通) 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ <https://www.city.imari.saga.jp/> ●印刷/株式会社三光

編集室から

新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が相次いでいますが、本号の紙面構成にも新型コロナウイルスの影響が出ています。市内で開催されたイベントを紹介する『みんなの広場(10ページ)』は、通常2ページを使って掲載していますが、イベントが激減し今号は1ページに。そのような中、二里小学校の児童2人が全国コンクール『図書館を使った調べる学習コンクール』に入選という明るいニュースもありました(2ページ)。入選作品を見せてもらおうと、文章構成のしかたやレイアウトが大人顔負けです。2人に共通するのは、ふだんから本を読んでいること。そう言えば、私の隣にいる編集長も昔から本をよく読んでいるそうです。私も見習って、毎日数ページずつでも読む習慣をつけたいものです。(智)